

平成 27 年度大学教員業績評価実施結果報告

平成 28 年 2 月 22 日
筑波大学

I 大学教員業績評価の概要

大学教員業績評価については、平成 19 年度に試行実施し、その後、試行結果の検証と課題に関する議論を重ね、検討した「大学教員業績評価指針」が平成 21 年 5 月 21 日の教育研究評議会において決定され、平成 21 年度より実施することとなった。本評価は、今年度で 7 度目の実施となり、教員の自己点検・評価、並びに部局評価委員会における評価コメントの記載などの作業をウェブ上で行う「大学教員業績評価支援システム（Tsukuba Evaluation Support System for Professors' Achievement (TESSA)）」を用いて実施した。

1. 目的

- (1) 教員自らが自身の活動を客観的に分析し、活動の改善・質の向上を図る
- (2) 教員の活動に対する正当かつ積極的な評価による処遇への反映やインセンティブの付与
- (3) 評価結果の分析を通じた大学や各組織における施策への反映
- (4) 国立大学法人としての社会への説明責任

2. 実施体制

系を評価の実施組織とし、それぞれ、教員の自己点検・評価結果に係る評価の実施及び SS（極めて優れた活動内容）評価候補教員の選定等を行うため、部局評価委員会を設置した。

なお、大学本部等において勤務する教員にあっては、評価を担当する副学長が評価を実施した。

また、SS 評価教員の認定等に係る検討・審議を行うため、教育研究評議会の下に、評価を担当する副学長及び部局評価委員会の長により構成される大学教員業績評価全学評価委員会（以下、「全学評価委員会」）を設置した。

※評価の実施組織等

〔人文社会系、ビジネスサイエンス系、数理物質系、システム情報系、生命環境系、人間系、体育系、芸術系、医学医療系、図書館情報メディア系、大学本部等教員〕

3. 評価の方法等

評価の方法等の概要は以下のとおりである。

(1) 教員による自己点検・評価

教員は、自身の前年度の活動実績について領域ごとに自己点検・評価を行い、系長へ「大学教員業績評価自己点検・評価票」を提出した。

※評価領域

〔・「教育」、「研究」、「社会貢献・学内運営」（活動に応じて「診療、センター、附属学校」を追加。）
・大学本部等教員：任務とする「本部業務」〕

※評価の段階

〔 S（平均水準を大きく上回っている）、A（平均水準を上回っている）、B（平均水準の活動内容である）、
C（平均水準を下回っている）〕

(2) 部局評価委員会による評価

教員による自己評価の妥当性については、系長の責任の下、部局評価委員会における評価において確認するとともに必要なコメントを付し、系長を通じて教員へ通知した。

(3) 全学評価委員会による SS 評価教員の認定

部局評価委員会の選考を通じて、系長より推薦される SS 評価候補教員の中から、領域ごとに SS 評価教員を認定した。

4. 大学教員業績評価支援システム (TESSA) の運用状況

自己点検・評価作業の効率化、データの一元化等を目的とし、平成 25 年度から全学で運用を開始した TESSA は、データ票に関する改修等を行い、前年度に発生した不具合等を解消した。データ票の担当授業数と卒論指導学生数の表示に関する改修については、細かい事情を精査することとなった。

5. スケジュール

平成 27 年	5 月	系長へ評価の実施について通知
	7 月～	教員による自己点検・評価の実施 部局評価委員会による評価の実施、SS 評価候補教員の選定
	11 月	系長より SS 評価候補教員の推薦 全学評価委員会による SS 評価教員の認定 SS 評価教員の認定について学長へ報告
	12 月	SS 評価教員の認定について教育研究評議会へ報告
平成 28 年	3 月	平成 27 年度大学教員業績評価結果について教育研究評議会へ報告

II 大学教員業績評価の実施結果の概要

1. 評価実施者

評価対象者 1,615 人（平成 27 年 5 月 1 日）のうち、評価実施者は 1,602 人であり、評価実施率は 99.2%と昨年度より微増した。

領域別実施者数

3 領域で評価を実施した者	1,044 人
4 領域で評価を実施した者	548 人

(注) 大学本部等において勤務する教員(10 人)を除く。

(注) 3 領域実施者は、「教育」、「研究」及び「社会貢献・学内運営」の領域で評価を実施した者。

(注) 4 領域実施者は「教育」、「研究」及び「社会貢献・学内運営」の領域のほか、活動に応じて「診療」、「センター」又は「附属学校」の領域で評価を実施した者。

2. SS 評価教員認定結果

全学評価委員会において、系長より評価の実施組織ごとに推薦のあった候補者の中から、推薦順位、領域及び職位のバランス等を考慮し、21 人を SS 評価教員として認定した。

【職位別】

職位	人数
教授	11 人
准教授	9 人
講師	0 人
助教	1 人
合計	21 人

【領域別】

領域	人数
教育	4 人
研究	8 人
社会貢献・学内運営	4 人
診療	1 人
教育／研究	2 人
教育／社会貢献・学内運営	1 人
教育／研究／社会貢献・学内運営	1 人
合計	21 人

Ⅲ 2015 BEST FACULTY MEMBER 表彰（平成 28 年 2 月 17 日）

大学教員業績評価において、平成 26 年度における「教育」、「研究」、「社会貢献・学内運営」、「診療」、「センター」活動が特に優れたと認定された大学教員を対象として、その活動に敬意を表し、栄誉を称えるため『2015 BEST FACULTY MEMBER』として 21 人の大学教員に対して学長表彰を行った。

表彰式当日は、表彰楯の授与後、各教員より今回の表彰の対象となった業績について発表を行った。当該活動への理解を深めるとともに、それらの幅広い活動を通じて、大学として社会からの要請に応えていく重要性について、あらためて認識する機会となった。

評価領域	氏名	所属系	職位
「教育／研究／社会貢献・学内運営」	海 後 宗 男	人文社会系	准教授
「教育／研究」	DADABAEV Timur	人文社会系	准教授
「社会貢献・学内運営」	川 田 琢 之	ビジネスサイエンス系	教授
「研究」	磯 崎 洋	数理物質系	教授
「研究」	重 川 秀 実	数理物質系	教授
「研究」	初 貝 安 弘	数理物質系	教授
「教育」	岡 田 幸 彦	システム情報系	准教授
「研究」	牧 野 昭 二	システム情報系	教授
「研究」	小 林 達 彦	生命環境系	教授
「教育／社会貢献・学内運営」	Taylor De Mar	生命環境系	教授
「教育／研究」	楊 英 男	生命環境系	准教授
「社会貢献・学内運営」	原 田 悦 子	人間系	教授
「社会貢献・学内運営」	本 間 三 和 子	体育系	教授
「教育」	吉 田 健 司	体育系	准教授
「研究」	程 塚 敏 明	芸術系	准教授
「診療」	大 鹿 哲 郎	医学医療系	教授
「研究」	佐 藤 明	医学医療系	准教授
「教育」	山 海 知 子	医学医療系	准教授
「教育」	澁 谷 和 子	医学医療系	准教授
「社会貢献・学内運営」	高 橋 智	医学医療系	教授
「研究」	寺 澤 洋 子	図書館情報メディア系	助教

※職位は平成 28 年 2 月 17 日現在。